

蔵前ベンチャー相談室第10回セミナー議事録

1. 日時 平成18年6月5日(月)
18:00～19:40 講演・パネルディスカッション
19:50～21:00 懇親会

2. テーマ 「理科系発想が日本を変えるー東工大に期待する」

3. 参加者 152名 (学生78名 一般74名)

4. セミナーの主旨

今回は蔵前工業会と東京工業大学の共催で、産業界から八剣氏、政界から藤末氏を講師としてお招きし、「理科系発想が日本を変えるー東工大に期待する」を共通テーマにご講演頂いた。今回特に、テーマに関連して大学への期待、若い世代への期待についても熱い思いを述べて頂いた。

講師

藤末 健三 (ふじすえけんぞう) 氏 参議院議員

1986年東工大情報工学科卒業。通商産業省、MIT、ハーバード大留学、東大助教授を経て、現在参議院議員。

八剣 洋一郎 (やつるぎよういちろう) 氏 株式会社ウィルコム社長

1978年東工大応用物理学専攻卒業。IBM、AT&T、日本テレコムを経て、現在(株)ウィルコム社長

パネル司会

公平良三氏 相談室運営委員 日米間ビジネスコンサルタント

1967年東工大博士課程(電気工学専攻)卒業。UCLA MBA。赤井電機を経て、1982年に日米間ビジネス・コンサルティングのKimihira, Shimada & Taylor Associates, Inc. (米国カリフォルニア州法人)を起業、活動をしている。

5. 講演内容

(1) パネル司会

今回は、東工大、蔵前工業会共催という形になりました。蔵前ベンチャー相談室の活動が東工大との連携を強化して、益々発展させていきたいと思っております。学生の参加も歓迎します。

(2) 藤末 健三氏 テーマ : 「理科系発想でイノベイトする日本の将来」

《テーマ》

1. 長期的視点からの政治
2. 長年のやり方を逆転の発想で変えた
3. 小さな積み重ねが人生を変える

《人物紹介》 (尊敬する先達から生き方を学んだ)

土光敏夫 (最も尊敬する東工大の先輩)

「ビジョンをもて」

稲盛和夫

「色がつくまでイメージをしろ」 (具体化できたものは夢を見ても色がついている)

松下幸之助

「常にビジネスを考え続ける」

《提言》

- ・何か経験して突破するようなことをやるべき
- ・やりたいことをやるのが成功の秘訣
- ・世の中を変えていきたいという夢があって政治家になった
- ・やりたいという思いがあれば、それを追求すべきだと思う

- ・何をやりたいかを考えてほしい
- ・目標があると道が見える
- ・思い込みで90%の力をつけたい
- 《コミュニケーションで大切なこと》
 - ・人の話を聞くこと
 - ・嘘をつかないこと
- 《就職について》
 - ・いつの時代もそのとき最も人気のある産業に学生は就職している。
 - ・産業および企業は必ず栄枯盛衰がある（例示あり）
- 《仕事を選ぶ上で大切なこと》
 - ・企業は20年、30年で大きく変化し誰も将来を予想することはできない。
 - ・「好きなこと」、「自分の能力を磨ける職場」を第一に選ぶことをお勧めする。これなら後で後悔することがない
- 《メッセージ》

自分が何をやりたいかを知り、やりつくすこと

(3) 八劍洋一郎氏 テーマ : 「逆転の発想による新事業展開」

- 《IT 業界の変遷》

ダウンサイジングの大波

IBM はハード業界から撤退
- 《ネットワーク業界の変遷》

IT 業界より早く、年60%成長をしてきている

 - ・嘘をつかないことが信頼を得る第一条件である
- 《ウィルコム》
 - ・電波資源が枯渇してしまうので音声定額は難しい
 - マイクロセルネットワークの強みで他社に打ち勝つ
 - マイクロセル方式：多数の基地局でエリアをカバー。ユーザを分散することで1ユーザーあたりの速度
 - マクロセル方式：1基地局で広いエリアをカバー。多数のユーザーが集中する為、1ユーザーあたりの速度が低下する傾向
 - ・エリア拡大が難しいマイクロセルネットワークがウィルコムの強み
 - ・ウィルコム定額プランが支持を得て加入者が急拡大した
 - ・W-ZERO：今までなかった、ケータイの機動性とPCの高性能を併せ持ったツール。市場で極めて高い評価
 - ・PHSの日本発の技術で世界最速の世界標準を目指したい
- 《経営は文型か？理系か？》
 - ・人の話を聞くこと
 - ・嘘をつかないこと
- 《メッセージ》
 - ・自分がどういう自分でいたい？10年後を描いてみる
 - ・東工大に期待すること
 - 高度技術を志向するだけでは世の中の変化に対応できない
 - 機能的に優位なものが必ず普及していくとは限らない
 - 「わかりやすい」「親しみやすい」イメージも重要
 - ビジネス界における先輩後輩の関係が希薄すぎる
 - なぜ私学が人気があるのか？
 - 先輩を頼る風土がなぜ生まれないのか？
 - 子曰 知之者 不如好之者 好之者 不如樂之者

5. 総評 ビジョンの持ち方、およびその実現について実体験に基づく熱い講演会になりました。特に、今回は今までで最大の参加人数となり、質疑応答で多く学生や若い人からの発言があり大いに盛り上がりました。学生にとって大変有意義なセミナーとなりました。その後の懇親会も学生・先輩の親しい交流が出来ました。

講師およびぐるなび瀧会長のご好意で二次会が有志により行われ、学生40人が参加し、深夜まで熱心な議論が続きました。今後、同じようなセミナー（東工大卒業生の実体験に基づく記を聞く）の開催を望む声が参加の学生から多く寄せられました